



新春

散塩山
歩

とき…令和4年1月16日(日)

午前9時から12時まで

ところ…中央防災広場「塩むすび(えんむすび)」集合

菅田天神社

熊野神社

若宮八幡神社



熊野神社所蔵絵画（県指定文化財）特別公開！



紙本着色渡唐天神像図



紙本着色飯繩権現像図



紙本着色欵器ノ図



紙本着色刀八毘沙門天像図



菅田天神社は上於曾・下於曾地区に氏子を持つ。承和年中（834～868）の勧請といわれ、古来より於曾郷の鎮守であつたが、戦国期に入ると於曾氏や武田家との関係を深くした。その一方で、於曾郷の分化とともに上方・下方それぞれの鎮守として**若宮八幡宮**が祀られていき、慶長年中に両社はそれぞれの村の鎮守と認識された。近世になると、菅田天神社は於曾氏と武田家を失い、再び於曾郷の鎮守としての性格を強めていった。その際、菅田天神社は上於曾村鎮守の上ノ若宮八幡宮を吸収したため、上ノ若宮八幡宮は村内の小社として祀られるに止まった。しかし下於曾村の鎮守とはならず、あくまで自村内にある下ノ若宮八幡宮を祀った。



熊野神社は大同2年（807）に紀州熊野神社から勧請された。一説では、もとは塩山下於曾の影井地区にあり、水害のために現在地に移ったという。熊野神社は、重川を挟んで右岸（西側）の塩山熊野、塩山西広門田、左岸（東側）の塩山西野原、勝沼町山の4地区の氏神であり、例大祭では、重川の水防祈願と子孫繁栄を祈願する御幸行列が仕立てられ、各地区を渡御する。山梨県内に伝わる御幸はいくつかあるが、なかでも熊野神社の御幸行列は、江戸中期頃の甲斐国の御幸の姿をよく残しており、貴重である。

- 全行程、徒歩で移動します。
- 密を避けるため、定員を**20名**とします。
- お申し込みは、次の期間に電話でお願いします。

令和4年**1月4日（火）**から

※午前9時から午後5時まで

※1月8・9・10日は受付できません

※定員になり次第、締め切ります

■お申し込み・お問い合わせ

甲州市教育委員会 文化財課

☎0553-32-5076